

資料 1

令和8年度 池田町 まちづくり方針

小さな町で見つける、大きな幸せ。



次世代が誇りを持って「ただいま」と帰ってくる町へ。
令和8年度、池田町が描く未来のカタチをご紹介します。

ただいま★
いけだま

小さな町で大きな幸せ見つけよう

1-1



対話から生まれた、 新しい池田町の姿

町長就任から2年。町民の皆様との様々な対話を通じて、池田町が目指すべき姿「まちづくりビジョン2025」をさらにバージョンアップしました。

物価高騰や人口減少（現在人口8,967人）という大きな波に直面していますが、単なる現状維持ではなく、「次世代が帰りたくなる、持続可能なまちづくり」を具体化する1年にします。

社会増（+55人）という前向きな兆しを確かなものにするため、守るだけでなく、未来へ向けた「挑戦」をスタートさせます。

まちづくりビジョン2025

“やさしい（寛容な）町「いけだまち」”



池田町は、多様な人が安心して暮らせる、温かいまちを目指します。

子どもも高齢者も、移住してきた人も地元の人も。

誰もが「ここにいていい」と心から思える場所をつくること。

それが私たちの約束です。

「やさしい町」をつくる4つの柱



1. 違いを認め合う

年齢や出身、価値観の違いを尊重し、お互いを受け入れられる町。



2. 助け合い、支え合う

困ったときに「お互いさま」と声をかけ、地域ぐるみで助け合える町。



3. 新しい挑戦を応援する

誰もがやりたいことに挑戦でき、地域が温かく見守り、応援してくれる町。




4. 居場所と優しさの循環

誰もが居場所を感じられ、ちょっとした思いやりが自然に広がる町。

ビジョンを現実にする「3つの重点エンジン」

「ただいま★いけだまち」を実現するため、令和8年度は特に以下の3つの重点施策をスピード感を持って推進します。



1. 新組織「みらい戦略室」による
政策のスピードアップ

2. 住まいと子育て世帯への
強力な支援

3. コミュニティ力の強化と
「移動」の仕組みづくり

重点施策1：町の未来を切り拓く「みらい戦略室」



人口減少対策を加速させるため、役場内に攻めの新部署「みらい戦略室」を創設します。

- 新たにプロジェクトマネージャーを配置し、機動力を大幅にアップ。
- 移住定住・関係人口の創出に特化。
- 外部資金の獲得や、町のブランド再設計と情報発信を戦略的に推進します。

変化の激しい時代に迅速に対応し、町の魅力を全国へ発信します！

重点施策2：安心の「住まい」と「子育て」



【住まい】

- 200軒以上ある空き家の利活用を促進。
- 不動産業者や連絡会と連携し、移住者や若者のための住宅確保を強化します。



【子育て】

- 4月開園の民間こども園「野あそび保育あいそめ」による信州型自然保育のスタート。
- 「こども誰でも通園制度」の導入推進（こども家庭センター「にこまる」連携）。
- 小中学校の給食費無償化継続と、中学生の自転車補助。

重点施策3：つながるコミュニティと「自由な移動」

池田町の最大の魅力である「程よい田舎のコミュニティ」を守り育てます。



- 災害時に最も頼りになる「近所（共助）」の力を高めるため、自治会運営の負担軽減と加入メリットを追求。
- 【実証実験】8月～10月の3ヶ月間、電話予約で乗れる「デマンド交通（バス）」の運行テストを実施。

高齢になっても、免許がなくても、誰もが自由に町内を移動できる仕組みを探ります。

ともに育つ町へ（こども・教育）

- 母子手帳アプリ「池田こどもがまんなかナビ by 母子モ」導入。移住者もデータ引き継ぎ可能で便利に！
- 高瀬中学校3年生からの提案を実現！アルプス広場のバスケットゴールを新しく更新。「ただいま★いけだまち」の若者のシンボルへ。
- GIGAスクール推進：小学校4～6年生のタブレット端末更新とICT支援員の配置。
- 会染小学校の大規模改修に向けた設計をスタート。



健やかに、安心して暮らす（健康・福祉）

- 地域の医療拠点「北アルプス医療センターあづみ病院」を近隣5町村と連携して財政支援（3年間）。地域医療を守り抜きます。
- 福祉人材の不足解消へ！新たに「地域おこし協力隊」を1名採用し、首都圏等での人材確保に動きます。
- 第二次食育推進計画の集大成として、「減塩運動」や食育講演会を推進し、健康寿命を延ばします。



活気あふれる産業と「農」の魅力（産業・農業・観光）



- あづみ野池田スマート・テロワール構想：新農業法人「信州池田アグリ」を軌道に乗せ、農業体験などを通じた担い手確保へ。
- 中学生のアイデアが給食に！特産品「ガーデンハックルベリー」のジャム開発など、独自のブランド化を推進。
- 「花とハーブの里」再発進：6月に町全体で楽しむ「花まつりウィーク（仮）」を開催。
- 乾杯条例イベント：5/30に「酒蔵まつり」、10/31に「ワインまつり」を開催予定。新たに誕生したミード（蜂蜜酒）も！

私たちの居場所を守る（防災・環境）

【防災 - 備えを強固に】

- 震度7を想定し、最大1,900名分の避難者用ベッド・テントを確保。トイレカー・トレーラーも導入。
- 携帯網が途絶えても繋がる「デジタル簡易無線」を配備。



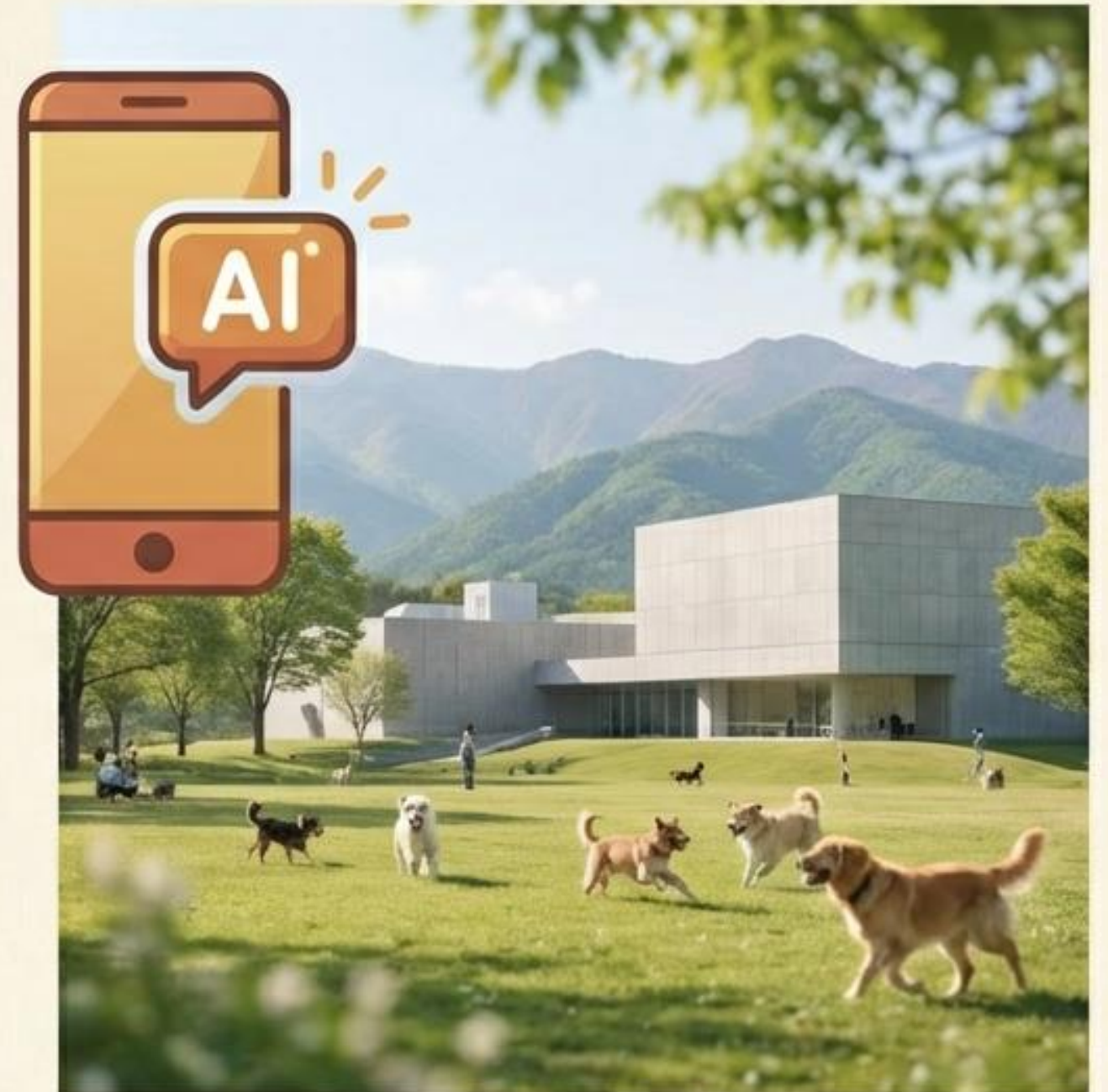
【環境 - リジェネラティブ（再生）な町へ】

- 生ゴミ処理器「キエーロ」の導入推進でゴミを減量。
- クマ等の有害鳥獣対策として、近隣と連携したガバメントハンターの養成と迅速な対応体制を構築。



暮らしをアップデートする (DX・文化)

- DXの推進：町公式LINEをバージョンアップし、より使いやすくて的確な情報発信へ。安全かつ効率的な生成AIの業務活用もスタート。
- 文化と交流の拠点：北アルプス展望美術館と創造館に新しい指定管理者を迎え、相乗効果を生み出します。
- クラフトパークの進化：利用者から要望が多かった「ドッグラン」の実証実験を予定。キャンプ等の新たな活用方法も検討中！



未来への投資を支える町の土台（財政状況）

令和8年度 総予算規模：約80億円（うち一般会計 51億7,500万円）
厳しい財政環境の中でも、着実に健全化が進んでいます。



- 実質公債費比率は10.5%へ低下見込み。 一般会計
- 町債残高は前年度比で約19.6%の大幅な減少（26億4,700万円へ）。
- 財政調整基金の取り崩しを行わず、約24.7億円の残高を確保。

「守るだけでなく、戦略的に攻める。
持続可能な財政運営で町の未来に投資します。」

「ただいま」と言える町を、一緒につくりましょう。

人口減少という波の中でも、池田町には人と人の温かい繋がり、豊かな自然、そして挑戦を応援する風土があります。
行政と町民の皆様が同じ未来を見据え、力を合わせることで、小さな町でも必ず「大きな幸せ」を見つけることができます。
令和8年度も、「やさしい町、いけだまち」の実現に向けて、共に歩いていきましょう。



